

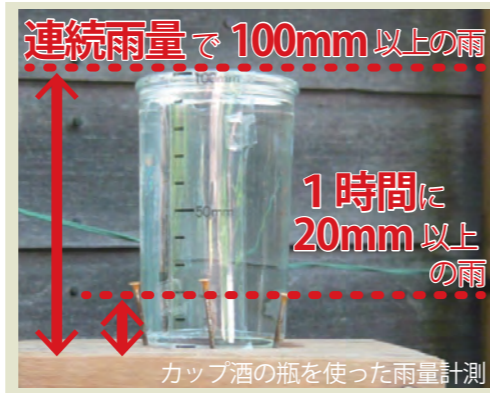
松倉地区 風水害への備え

住民の皆さんが**雨の量**や**周辺の様子**に注意し、避難開始を判断できるように以下の項目をみんなで実践しましょう。

！ 雨と土砂災害の関係を知りましょう

土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。自宅で雨量を計測する習慣をつけましょう。なお、カップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です。

雨が降り始めたら、**地面で跳ねた雨が入らない高さで平らな場所に、カップ酒の瓶などの寸胴の容器**を設置する。



！ 行政からの情報に注意しましょう

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、防災気象情報の他に行政から次のような情報が発表されることがあります。これらの情報が発表された場合には、すぐに避難を開始してください。

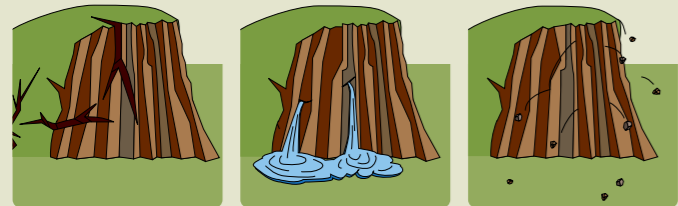
土砂災害警戒情報・・・地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生危険性が高まった地域に対して、気象台と県から市町村単位で発表される情報

避難勧告・避難指示・・・災害によって被害を受ける可能性の高い地域の住民に対して、市町村から発表される情報

！ 前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

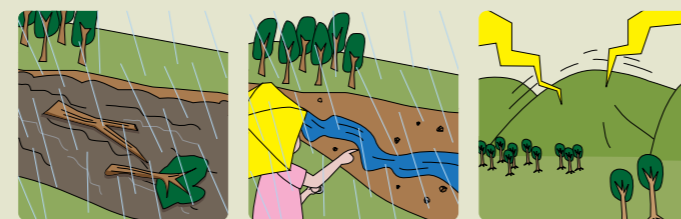
土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、周りの様子に注意して、次のような状況を見つけたら、直ちに避難を開始してください。

がけ崩れの発生前には・・・



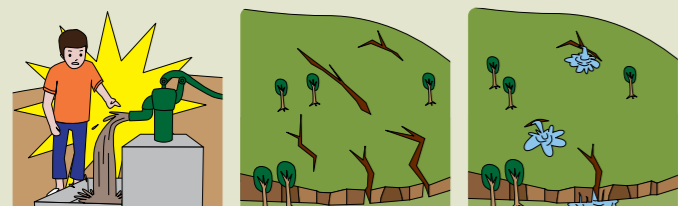
がけに割れ目が見える がけから水が湧き出ている がけから小石がぱらぱら落ちてくる

土石流の発生前には・・・



急に川の流が濁り、流木が混ざっている 雨が降り続けているのに、川の水が下がる 山鳴りがする

地すべりの発生前には・・・



沢や井戸の水が濁る 地面にひび割れができる 斜面から水が噴き出す

この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる など

！ 災害情報サービスをご活用ください

釜石災害110番 ☎ 0800-8003199（通話料無料） ※岩手県内の固定電話・携帯電話・PHSから利用可能です。
市内の雨量情報・防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

① 日頃からやっておくこと

- 裏面の防災マップを参考に、**地域内の危険箇所**や、大雨が降ると見られる**予兆現象**、いざというときの**避難場所**（比較的安全と思われる建物）、**避難経路**、**住民間の連絡方法**を確認しておきましょう。
- カップ酒の瓶などを用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。（1時間に20mm、連続雨量で100mmの雨で土砂災害が起こりやすいとされています。）

② 雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う

- 土砂災害が起こる目安の雨が降っていないか、家の外の様子を確認しましょう。
- **避難開始の目安となる現象**が起きていないか、自宅周辺の様子を確認しましょう。



③ 避難開始の目安となる現象を発見したら、みんなで声を掛け合い、避難する

- 身の安全を第一に考えて、避難を開始しましょう。



避難開始の目安となる現象 以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- **避難勧告（洪水）が発令された場合**
・・・甲子川がはんらん注意水位（2.7m・礼ヶ口水位観測所）を突破し、洪水のおそれがあるときなどに発令します。
- **避難準備情報が発令された場合（洪水）**
・・・「大雨警報、洪水警報等が発せられ、避難の準備を要すると判断されるとき」、「強い降雨を伴う台風が夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合」に発令します。

立ち退き避難 必要区域 ○堤防の決壊等で氾濫した場合、浸水深が概ね0.5mを超える区域の平屋家屋
○堤防の決壊等で氾濫した場合、浸水深が概ね1mを超える区域の2階建て家屋

※避難勧告等は、防災行政無線・いわてモバイルメール・広報車などでお知らせします。

いざというときの避難場所 周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応をとってください。

甲子小学校、甲子地区生活応援センター（甲子公民館）、松倉地区コミュニティ消防センターへ避難

※避難勧告等が発令された後、激しい雨が継続するなど、避難場所まで移動することが危険と判断される場合は、近隣の安全な場所や建物への移動、それさえ危険な場合は、屋内に留まることも考えられます。

※この計画は平成26年10～平成26年12月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて検討したものです。